

ステファン・ルフェーブルが 5 位と健闘

2017 年の世界ラリー選手権(WRC)第 8 戦ラリーポーランドは、シトロエン・トタル・アブダビ WRT のステファン・ルフェーブル/ギャビン・モロー組が総合 5 位に入賞、チーム最上位でフィニッシュを果たしました。さらにアンドレアス・ミケルセン/アンデルス・ヤーゲル組は総合 9 位、クレイグ・グリーン/スコット・マーティン組は総合 11 位と、チームからエントリーした 3 台すべてがラリーを走り切りました。



- ▼ 競技最終日となる 3 日目は、ふたつのステージを 2 回走行する構成で行われました。前日夜には小雨が降っていましたが、この日の朝、クルーがサービスを出発する頃には再び雨が降り始め、コンディションが特に厳しくなることが予想されました。
- ▼ Orzysz のステージを走り切ったシトロエン・トタル・アブダビ WRT の各クルーは、この予想が当たっていることを痛感しました。道はかなり滑りやすく、十分な自信を持ってプッシュすることは不可能でした。
- ▼ Paprotki の 1 回目の走行は、ドラマの連続でした。ハードに攻めていたミケルセンはコーナーでのブレーキが遅れてオーバーランし、トヨタのエホ・ハンニネンに 10 番手の座を明けわたすことになってしまいました。一方のルフェーブルは、フェンスとの接触や、ステージ途中で木の杭がマシンのラジエターグリルに引っかかるなどのトラブルを抱えながらも、このステージで 3 番手タイムをマークしました。
- ▼ Paprotki で M スポーツのオット・タナクがリタイアしたことで、シトロエンのドライバーたちは順位をひとつずつ上げ、2 回目の Orzysz を迎えました。この SS22 で 3 番手タイムをマークしたミケルセンは、ハンニネンとの差を 4 秒以下にまで詰めることに成功しました。
- ▼ このため勝負の行方はすべて、最終 SS であるパワーステージの結果に委ねられることとなりました。18.68km の SS で、ミケルセンはハンニネンに対し 14.2 秒差をつけて総合 9 位に浮上。ルフェーブルも、ミケルセンにわずか 1 秒遅れの好タイムをマークし、さらに順位をひとつ上げて WRC での自己ベストタイ(2016 年モンテカルロ)のリザルトを収めました。
- ▼ 金曜日の午前中にメカニカルトラブルを抱えて順位を下げていたグリーンは、11 位まで順位を取り戻してフィニッシュを果たしました。3 日目は 1 番手でステージを走行することになったグリーンでしたが、この先のラリーに向けて貴重な経験を積みました。
- ▼ チームはこの後すぐ、第 9 戦ラリーフィンランド(7 月 27~30 日)に向けた準備を行います。フィンランドには、クリス・ミーク、クレイグ・グリーン、ハリ・アル・カシミという布陣で臨みます。

チームコメント

■イブ・マトン (シトロエン・レーシング チーム代表)

「私たちは、今回のラリーをシーズンの新たな章の始まりと捉えていました。シトロエン C3 WRC に施したアップグレードには明らかに効果がありました。難しい天候のため、すべての SS でその効果を表すことはできませんでしたが、3 台のマシンが再出走システムを使うことなくラリーを完走したので、エンジニアたちは多くのデータを活用して、今後の車両開発につなげることができます。ルフェーブルがシトロエン C3 WRC で初めて 5 位入賞を果たしたことも、大変うれしく思います。まだトップレベルでの経験が浅いなかで、彼のポテンシャルが裏付けられました。この週末、必死で取り組んでくれたチームのみんなが、素晴らしい仕事をしてくれた結果だと思います」

■ステファン・ルフェーブル

「シーズンの滑り出しは、かなり厳しい内容だったので、チームのみんなにとって士気が高まるリザルトです。いつでも自分を支え続けてくれたチーム、自分のキャリア最上位のリザルトを得るため後押ししてくれたエンジニアたちに、感謝したいです。グリップがあれば、プッシュできる大きな自信を感じていました。次の 2 戦には参戦ませんが、いい兆しをつかんで休息を迎えることができます！」




■アンドレアス・ミケルセン

「再走する SS では、グリップが良くなり楽しめるようになりました。パワーステージで好タイムを出していかたちでラリーを終えることができうれしいです。第 10 戦のラリードイチェラント出場に向けて、C3 WRC をターマックでテストするのを楽しみにしています」


■クレイグ・ブリーン

「この週末は自分のキャリアのなかでも最も難しいものになりました。とにかくフィニッシュできたことがうれしいです。ラリー中もマシンを改善させるため、必死で取り組んでいましたが、心から自信を感じられるようにはなりません。フィンランド前にはテストを予定しているので、昨年初めて表彰台を獲得したラリーでいい走りができるよう、準備に努めていきます」

世界ラリー選手権 (WRC) 第 8 戦ラリーポーランド 最終結果

1.	ティエリー・ヌービル／ニコラ・ジルスール	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	2:40:46.1
2.	ヘイデン・パットン／セブ・マーシャル	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+1:23.9
3.	セバスチャン・オジェ／ジュリアン・イングラシア	フォード・フィエスタ WRC	+2:20.8
4.	ダニ・ソルド／マルク・マルティ	ヒュンダイ i20 クーペ WRC	+2:47.4
5.	ステファン・ルフェーブル／ギャビン・モロー 	シトロエン C3 WRC	+3:11.8
6.	テーム・スニネン／ミッコ・マルックラ	フォード・フィエスタ WRC	+3:16.8
7.	マッズ・オストベルグ／オーラ・フローネ	フォード・フィエスタ WRC	+3:39.6
8.	エルフィン・エバンス／ダニエル・バリット	フォード・フィエスタ WRC	+4:39.1
9.	アンドレアス・ミケルセン／アンデルス・ヤーゲル 	シトロエン C3 WRC	+4:43.5
10.	ユホ・ハンニネン／カイ・リンドストローム	トヨタ・ヤリス WRC	+4:53.7
11.	クレイグ・ブリーン／スコット・マーティン 	シトロエン C3 WRC	+11:56.5

WRC マニュファクチャラーズ選手権 ポイントスタンディングス

1.	M スポーツ・ワールドラリーチーム	259
2.	ヒュンダイ・モータースポーツ	237
3.	トヨタ・ガズーレーシング WRT	153
4.	シトロエン・トタル・アブダビ WRT 	117